

平成31年度 木古内町決算

一般会計をはじめ、簡易水道事業会計や国民健康保険病院事業会計など、平成31年度に使われた「まちづくり」のお金の中身をお知らせします。

歳入 42億4,812万円

(単位：万円、%)

区分	金額	構成比
①町税	49,581	11.7
②地方消費税交付金	8,337	2.0
③地方交付税	217,902	51.3
④使用料及び手数料	5,919	1.4
⑤国支出金	30,952	7.3
⑥道支出金	17,041	4.0
⑦諸収入	5,496	1.3
⑧町債	57,770	13.6
⑨繰入金	12,534	2.9
⑩財産収入	9,896	2.3
⑪分担金及び負担金	2,030	0.5
⑫その他	7,354	1.7
計	424,812	100.0

平成31年度町税の収納状況

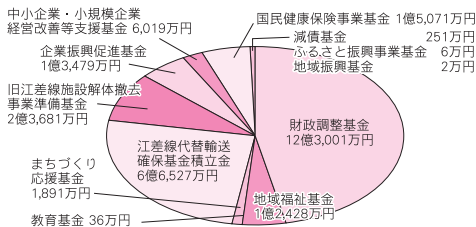
区分	調定額(万円)	収納額(万円)	収納率(%)	
町民税個人	現年分	13,955	13,759	98.6
	滞納繰越分	1,531	224	14.6
	計	15,486	13,983	90.3
町民税法人	現年分	3,580	3,580	100.0
	滞納繰越分	12	6	50.8
	計	3,592	3,586	99.8
固定資産税	現年分	25,319	25,080	99.1
	滞納繰越分	2,298	577	25.1
	計	27,618	25,658	92.9
軽自動車税	現年分	997	991	99.4
	滞納繰越分	56	15	28.3
	計	1,053	1,007	95.6
町たばこ税	計	4,451	4,451	100.0
入湯税	計	137	137	100.0
合 計	52,339	48,824	93.3	

平成31年度の一般会計歳入は、前年度よりも約2,220万円の減額決算となりました。

科目別では、繰入金が財政調整基金、企業振興促進基金繰入金の減により約2億1,100万円の減額、諸収入が社会福祉法人木古内萩愛会清算譲渡金の減により約2億700万円の減額となりました。一方で国庫支出金が産地パワーアップ事業補助金約3,200万円、北海道第5期地域住宅交付金約5,100万円の増により約9,800万円の増額、町債が中央公民館・スポーツセンターの機械・電気設備改修工事の財源として約2億7,200万円借り入れたこと等により約2億1,700万円の増額となっています。

町税の収納状況は右上表のとおりですが、前年度に比べ調定額(課税額)は約1,800万円の減額、収納額は約1,100万円の減額となっています。

基金残高 26億2,393万円



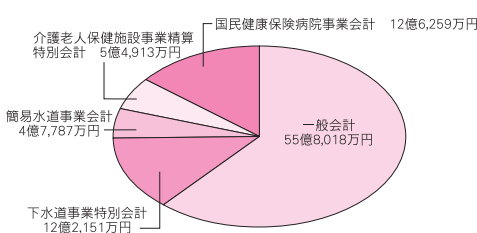
基金とは、町の貯金のことをいいます。地方交付税の減少などにより、平成18年度末には基金残高が約2億3,000万円まで減少しましたが、その後は徐々に増え続けています。

その結果、平成31年度末の基金残高は26億2,393万円となりました。

なお、財政調整基金は繰替運用利子収入等で66万円の増額となっています。

また、平成31年度には森林環境譲与税基金を新設していますが、積立金約9,000万円を全額繰り入れて森林振興施策に充当していますので残高はゼロとなっています。

町債残高 90億9,126万円



町が公共施設や道路を整備する場合、一般的に国の補助金を財源としますが、補助金だけで財源確保ができない場合、町は地方債(借金)を発行し、財源とします。

整備された公共施設や道路は、長期にわたり、みなさんが公平に利用します。毎年度返済する借金の財源に町民のみなさんが納めている税金などを充て、将来その施設を利用する方にも負担していただくことで、世代間の公平を図っています。

なお、平成31年度末の町の借金の残高は約90億9,100万円、前年度から約2億1,800万円減少しています。

町の貯金・借金の残高は？